

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	:	PESメンブレンカートリッジフィルター TCS-E (020, 045, 045S) -(S, D, T, Q)1 (F, M, R, P)E
供給者の会社名称, 住所及び電話番号	:	
会社名称	:	東洋濾紙株式会社
住所	:	東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル5階
担当部門	:	品質保証室
電話番号	:	03-5521-2176
FAX番号	:	03-5521-2177
メールアドレス	:	trk-hinsho@advantec.co.jp
推奨用途	:	液体の精密濾過
使用上の制限	:	上記以外の用途にご使用される場合は、 事前にご相談ください。 また、有機溶剤の濾過にご使用の際は、帯 電防止対策のため、ステンレスハウジング を使用し、アースをとってください。

2. 危険有害性の要約

化学品のGHS分類	:	
物理化学的危険性	:	区分に該当しない。
健康有害性	:	区分に該当しない。
環境有害性	:	区分に該当しない。
GHSラベル要素	:	なし。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	:	混合物
化学名又は一般名	:	PESメンブレンカートリッジフィルター
成分及び濃度又は濃度範囲	:	ポリエーテルサルホン(フィルター) (CAS No.113569-14-5) (CAS No.36313-66-3) (CAS No.25667-42-9) ポリプロピレン(サポートメディア、コア、 プロテクター、エンドキャップ、ブライン ドキャップ、フィン) (CAS No.9003-07-0) (CAS No.9010-79-1)

エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン(ガスケット※1)

(CAS No25038-36-2)

カートリッジフィルターとして、カーボンブラック、鉱油を1.5%以下、テトラメチルチウラムジスルフィド、テルル-ジエチルジチオカルバメートを0.5%以下含む。

エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン(O-リング※2)

(CAS No25038-36-2)

カートリッジフィルターとしてカーボンブラックを0.4%以下、鉱油を0.3%以下含む。

※1 カートリッジフィルター形状：
Fコード

※2 カートリッジフィルター形状：
M, R, Pコード

官報公示整理番号
化審法

- : (7)-1853 ポリエーテルサルホン
- (6)-402 ポリプロピレン
- (6)-10 ポリプロピレン
- (6)-47 エチレン・プロピレン・エチリデンノルボルネン
- (2)-1820 テトラメチルチウラムジスルフィド
- (2)-1842 テルル-ジエチルジチオカルバメート

安衛法

- : 別表第9の130 カーボンブラック
- 別表第9の168 鉱油
- 別表第9の372 テトラメチルチウラムジスルフィド
- 別表第9の376 テルル-ジエチルジチオカルバメート

4. 応急措置

- 吸入した場合 : 該当しない。
- 皮膚に付着した場合 : 該当しない。
- 眼に入った場合 : 該当しない。
- 飲み込んだ場合 : 該当しない。

5. 火災時の措置

- 適切な消火剤 : 水(噴霧)、粉末消火剤、泡消火剤、二酸化炭素消火剤、ハロゲン化消火剤など。
- 使ってはならない消火剤 : データなし。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項, 保護具及び : データなし。

緊急時措置

環境に対する注意事項	：	データなし。
封じ込め及び浄化の方法及び機材	：	データなし。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	：	火気のそばでの取扱いに注意する。 強酸、強アルカリとの接触を避ける。
保管	：	変質を防止するため、直射日光、紫外線、 水濡れ、高温、低温、高湿、屋外保管を避 けると共に、強酸、強アルカリとの接触を 避ける。 3,000kg 以上の保存時には、消防法(指定 可燃物：合成樹脂類)の適用を受ける。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度	日本産業衛生学会	：	吸入性粉塵；2mg/m ³ (ポリエーテルサルホン) (2013)
			総粉塵；8mg/m ³ (ポリエーテルサルホン) (2013)
	ACGIH	：	吸入性粉塵；3mg/m ³ (ポリエーテルサルホン) (2014)
			総粉塵；10mg/m ³ (ポリエーテルサルホン) (2014)
設備対策		：	必要に応じて講じる。
保護具		：	必要に応じて使用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態	：	固体、筒状のフィルター。
色	：	白色。
臭い	：	なし。
融点/凝固点	：	データなし。
沸点又は初留点及び沸点範囲	：	データなし。
可燃性	：	あり。
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	：	該当しない。
引火点	：	該当しない。
自然発火点	：	該当しない。
分解温度	：	該当しない。
pH	：	データなし。
動粘性率	：	該当しない。
溶解度	：	水に不溶。
n-オクタノール/水分配係数	：	データなし。
蒸気圧	：	データなし。
密度又は相対密度	：	データなし。
相対ガス密度	：	該当しない。
粒子特性	：	データなし。

10. 安定性及び反応性

反応性	: 通常の取扱い条件では安定。
化学的安定性	: 通常の取扱い条件では安定。
危険有害反応可能性	: データなし。
避けるべき条件	: 強酸、強アルカリとの接触を避ける。
混触危険物質	: データなし。
危険有害な分解生成物	: データなし。

11. 有害性情報

急性毒性

経口

: 区分に該当しない。
(成分として)
区分に該当しない。
ラット LD ₅₀ >4,000mg/kg (ポリエーテルサルホン)

経皮

吸入：ガス

吸入：蒸気

吸入：粉塵、ミスト

皮膚腐食性／刺激性

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

呼吸器感受性又は皮膚感受性

生殖細胞変異原性

発がん性

: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
(成分として)
IARCグループ3(人に対する発がん性は 評価できない)に分類されるが、データ 不足のため分類できない。 (ポリプロピレン)

生殖毒性

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

誤えん有害性

: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性 短期 (急性)

水生環境有害性 長期 (慢性)

残留性・分解性

生体蓄積性

土壌中の移動性

オゾン層への有害性

: データ不足のため分類できない。
: データ不足のため分類できない。
: データなし。
: データなし。
: データなし。
: データ不足のため分類できない。

13. 廃棄上の注意

該当法規に従い、廃棄物として処理する(国、都道府県ならびに地方自治体の法規、条例に従う)。

一般産業廃棄物と同様に、都道府県知事が許可した産業廃棄物処理業者もしくは、地

方公共団体がその処理を行っている場合には、その団体に委託して処理する。

焼却処分するときは、管理された焼却設備を用いて、大気汚染防止法、廃掃法、水質汚濁防止法等に沿って処理する（廃棄時には、産業廃棄物として処理することをおすすめいたします）。

1 4. 輸送上の注意

国内規制がある場合の規制情報 : 消防法における指定可燃物に該当する。

1 5. 適用法令

化審法 : 既存化学物質
(7)-1853 ポリエーテルサルホン
(6)-402 ポリプロピレン
(6)-10 ポリプロピレン
(2)-1842 テルルージエチルジチオカ
ルバメート
(6)-47 エチレン・プロピレン・エチ
リデンノルボルネン
優先評価化学物質、既存化学物質、質旧第
二種化学物質、旧第三種化学物質
(2)-1820 テトラメチルチウラムジ
スルフィド

安衛法 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及
び有害物
別表第9の130 カーボンブラック
別表第9の168 鉱油
別表第9の372 テトラメチルチウラ
ムジスルフィド
別表第9の376 テルルージエチルジチ
オカルバメート

化管法 第1種指定化学物質
(1)-268 テトラメチルチウラムジス
ルフィド

消防法 : 第九条の四(指定数量未満の危険物等の貯
蔵又は取扱いの基準)、危険物の規制に関
する政令第一条の十二、別表第四指定可燃
物(合成樹脂類。3,000kg 以上は消防法の
適用を受ける。3,000kg 未満の場合、物品
の貯蔵および取扱いの技術上の基準は市
町村条例で定める)。

1 6. その他の情報

記載内容の取扱い

本データシートの記載内容は、現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。

また、含有量、物理・化学的性質、危険・有害性等に関しては、いかなる保証をなすものではなく、注意事項は、通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。

ご需要家各位は本シートを参考にして、自らの責任において、個々取扱い等の実態

に応じた適切な措置をお取りくださいますよう、お願いいたします。

参考文献

- ・ G H S に基づく化学品の分類方法 (JIS Z 7252:2019)
 - ・ G H S に基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法ーラベル, 作業場内の表示及び安全データシート (S D S) (JIS Z 7253:2019)
-